



市内全小・中学校でプログラミング教育の授業を実施。中学校では全教科でiPadを使用し、生徒がiPadで先生から出題された問題を解くなどしています。また、iPadと電子黒板を活用した双方向の授業も推進し、学び合い学習の創造に力を入れています。



先進的な教育

column

主体的・対話的で
深い学びの創造

新見市では「新見ICT活用教育推進事業」の一貫として、iPad(タブレット端末)や電子黒板を導入した授業を実施しています。全中学校5校と小学校1校では全生徒・児童にiPadを配付し、教育へのICT活用を推進しています。

iPadの利用で、生徒・児童への対応が速くなり、授業がスムーズに進むことで学習意欲が向上するなど、数々の効果が出ています。また、iPadは、家庭学習や生徒会などでも活用しています。



新見市は情報文化都市を掲げ、教育現場で早期にICTを取り入れました。生徒・児童は、さまざまな教科でiPadを活用して授業に取り組んでいます。

Every junior high school student learns in ICT classrooms, with a personal iPad used in conjunction with an interactive whiteboard. Additionally, students have English exposure from an early age. Native English speaking assistant teachers work in Niimi schools, starting as early as preschool, providing opportunities to broaden their perspectives.

最先端の学びは

遊ぶ楽しさを超える

英語における「聞く」「読む」「話す」「書く」の活動を通して、互いの考えを伝え合う力を身に付けるため、小・中学校9年間を見通した授業を実践しています。



グローバル化に
対応した
新たな英語教育

保育所、認定こども園、幼稚園、小学校、中学校にALT(外国語指導助手)を配置しています。幼少期から※ネイティブスピーカーとふれあい、英語に慣れ親しみながら、国際感覚を身に付けます。

また、学んだ英語を使いながらコミュニケーションを図る実践的な場として、英語講座なども開催しています。



※英語を母国語として話す人